

どんな方がつけているの？

内部障害・疾患、視覚・聴覚障害、身体障害、発達障害、精神障害、知的障害
認知症、難病、義足や人工関節を使用している、手術後、妊娠初期 など



ヘルプマーク・ヘルプカードに関するエピソード

エピソード①義足や人工関節を使用している方

外見ではわからないので、電車の優先席に座っていると、注意されることがあります。

ヘルプマークで事情があると伝えることができ、とても気が楽になりました。ヘルプマークをお守りにしています。

エピソード②がん患者さん

がんを患っていて、副作用もあり、通院のために出かけると、立っているのもつらいです。でも見た目ではわかってもらえません。

エピソード③聴覚障害のある方、言語障害のある方

ヘルプマークの裏に「聞こえないので筆談をお願いします」と書いています。お店でヘルプマークを見せると、すぐに分って助けてもらえてありがたいです。

エピソード④命を救う

ヘルプマークの裏に緊急時の連絡先として、かかりつけの病院の電話番号を書いておいたので、発作で倒れた時に、救急隊員が気づいてすぐ連絡をしてくれ、一命を取り留めることができました。

エピソード⑤発達障害のある方

ディスレクシア(読み書き困難)があり、銀行で書類を書くのがとても大変です。でも、ヘルプマークの裏に支援してほしいことを記入しておりそれを見せるとさりげなく教えてくれてスムーズに手続きができます。

しかも大勢のお客様がいる中で、毎回、自分の障害を説明しなくてもいいのでストレスが減りました。

エピソード⑥配慮されることも 配慮することもできる存在

慢性疾患があるので辛いときには助けてもらえるとありがたいです。

でも、元気なときには、ヘルプマークを鞆にしまっています。

できるときはお手伝いしようとおもっています。支援する側にもなれる、ということが嬉しい。

エピソード⑦ヘルプカードの活用の仕方

発作が頻繁に起きるので、ヘルプマークの裏に「発作時は、かばんの中のヘルプカードを見てください」と書いています。

家族の連絡先などの個人情報をヘルプマークに書くのは躊躇してしまいましたが、緊急時には必要です。ヘルプマークとヘルプカードを上手に活用していきたいです。

〈問合せ・申請先〉 浅口市役所 社会福祉課 ☎0865-44-7007

